

四季の路から



地域福祉だより

第2号 (通巻 77号)

平成 24 年 5 月 15 日発行

森の里地区

地域福祉推進委員会

地域福祉推進委員会 HP <http://morinosato-tiiki.fukushi.com/>

森中生、被災地へ

中学生被災地支援ボランティア
事業を企画して
〜終わりは始まりです〜

森の地区青少年健全育成会連絡
協議会 会長 ****

東日本大震災発生から「何かを支援せねば」「継続した支援とは」と数々の思いが駆け巡る日々でした。そんな中、PTAの橋渡しで11年間継続してきた森中生による地域ボランティアの実績と青健連の社会体験事業が協働すれば、中学生による被災地支援ボランティアが出来るのではないかと思ったのがこの事業の始まりでした。

多くの方々や団体から賛同を得ながら事業実行委員会を立ち上げました。安全に確実な活動にするため半年かけて計画を練り上げ、3回の現地視察や2回の中学生事前研修などの準備を経て3月24、25日の1泊2日の支援事業となりました。訪問地は、厚木市立相川小学校が石巻市の同名の小学校を支援したことから両校長の紹介で、石巻市立相川小学校区の2つの仮設住宅とめぐり逢いました。活動は、「児童とのふれあい活動」「仮設住宅の花壇づくり」「最盛期のわかめ収穫作業支援」など3点に絞り、森中生応募者47名から30名を選出

季節のお花で花壇を作りました!



し、6名のジュニアリーダーと大人スタッフ14名が臨みました。また、訪問地の関係から厚木市立相川小学校の諸団体有志や小中学生2名、厚木南地区青健連有志も参画して、地区間の事業にも広がりました。

支援活動とともに移動行程の被災地視察などの体験も大震災の記憶を風化させない成果となりました。今後ともこのつながりを大切にして、ひとつのイベントに終わらせず、「終わりが始まりです」を合い言葉に継続した支援活動を実践したいと考えています。

【中学生感想文】

「一年たった石巻」



三陸自動車道をおりて広がる土地は、何とも言えない風景でした。それは、震災の爪痕が生々しく残っているからではなく、何もなかったからです。そこには山、ふもとに民家、山間を通る太い川、そして一面には土が剥き出しのままの平らな土地が、広がっていました。その茶色の土地は、今は使っていないだけの畑にも見えましたが、元々は住宅が建ち並んでいたようでした。太陽が照った時に、ガラスの破片らしきものが、ピカピカッと光って本当に人が住んでいた事を教えてくれたようでした。

他には、大川小、明脇小、吉浜小の三校の小学校を見させてもらいました。震災当日の様子をききながら見たので、荒れた教室を見る以上に胸がしめつけられる思いがしました。大川小の子供や先生たちは、逃げていた途中に目の前の川にのまれ、まだ見つからない人がたくさんいるそうです。その川を人に例えると、とても悪質な殺人鬼といえそうです。ですが、その川は平気な顔で同じ場所にあります。怒りをぶつけても一方通行なので、とても嫌な立場だといえると思います。

この土地に住む子供達は、今ほとんど感じているのか、改めて疑問に感じました。私は子供達とふれあいができるボランティアをさせてもらえるところになったので、会うまで少しドキドキしていました。ですが、着くと一人

の男の子が「入らないの?」と声をかけてくれたり、他の小学生はキャッキヤイって、遊んでいたの、ほっとしました。そして同時に、驚きも感じました。なぜなら、震災での悲しみは、胸にしまえきれないと思ったからです。ですが、その皆の笑顔を伺うことができたのは、相手に悲しみを分けられないようにする思いやりや、心の中の復興も進んでいるのかもしれない。

私はこの体験を通して思ったことは、亡くなった方を思い、胸につまるものを感じたことが多かったことです。それを感じるのには皆同じではないかと思えます。ですが、感じているだけでは、前に進めません。自分がこれからできることを考えなくてはいいかと感じました。この活動の中で戸惑ってしまった時、周りの人は温かく支えてくださいました。私は、オドオドしてしまふことが多いという欠点があります。いざという時も人を支えることができるように、冷静さや積極性を持てるように、日頃から心がけたいです。



*事業の記録及び参加中学生の感想文は、冊子にまとめられています。なお、本紙次号2面にも、感想文一作が掲載されます。

「お誕生、おめでとうございます。」 ** *ちゃん (5丁目在住) が、2012年1月に誕生され、森の里の一員になりました。*ちゃんの健やかな成長を願っています。(森の里地区地域福祉推進委員会)

(^e^)森の小さな子育てサロン(^v^)

5月22日(火) 10:15~11:45 森の里児童館
対象は乳幼児と保護者&マタニティママ

- **さんによるおはなし会 ●
- ベビーマッサージ●●●

**さんに指導していただき、親子のスキンシップを楽しみましょう

日 時:5月22日(火) 10:30~11:30
場 所:森の里児童館和室
対 象:生後2か月~ハイハイくらいまでの乳児
持ち物:バスタオル、ハンドタオル
申込み:5月15日(火)までに森の里公民館
対 象:乳幼児と保護者&マタニティママ

ふれあい喫茶室 @ 2丁目自治会館

開店 6月5日(火)

10:30~15:00

~メニュー(全品100円)~

コーヒー、紅茶、バナナミルク、抹茶ほか

~ 同時開催 ~

- **さんの水彩画展
- 地場野菜の販売
- ミニデイ・・・2丁目の70歳以上の方は飲み物一杯無料です。
- 「ぐるっと」臨時運行します。

森の里防犯情報

ご注意

▼3/4,5 森の里2丁目 空き巣
▼3/23 森の里4丁目 空き巣
いずれも家人が不在中にガラスが割られて侵入され、現金と貴金属が盗難にありました。
お出かけの際には十分気を付けましょう!

「たまちゅう(玉川駐在所)だより」
3・4月号より

「散歩日和」

春の訪れが遅かったため、待ちに待ったサクラとともにすべての花が咲きましたね。もう一つ待っていたのが「ツバメ」です。例年なら三月末から四月初めに賑やかなお喋りとともに軽やかな姿を見せてくれるはずが、四月中旬になってやっと見かけるようになり、これからの新緑の中の散歩は、小鳥たちのさえずりを聞きながら歩を進めましょう。五丁目の山際の『バラ』がそろそろ見頃を迎えます。(*)

どうぞよろしくお願
いたします。

***さんが、
5月7日に着任
しました。

◎地域福祉推進員

住所:森の里***
電話:***

担当地区:
4丁目1,21番地
***さん

◎民生委員・児童委員

役員交代の
お知らせ

5月の森Cafeは22日(火)

もりかふえ(喫茶)

♪ OPEN 10:30~15:00

♪ 1丁目パークサイドハイツ集会所
お散歩がてらお立ち寄りください。
ぐるっとも臨時運行。



ふれあい喫茶室 @ 森小

授業を通してこどもたちと交流する喫茶室です。

6月6日(水) 2, 3校時

5年生 国語・社会

「さまざまな地方の暮らし~各地の方言~」
体育館下ピロティ教室 *北門からお入りください

- メニュー(全品100円)
- ☾ コーヒー(ホット/アイス)
- ☾ カフェオレ
- ☾ カプチーノ
- ☾ 紅茶(レモン/ミルク)
- ☾ 100%ジュース
- ☾ 今月のスイーツ

((もりの応援隊)) あなたの「困った!」をサポート

専用受付電話 080-5486-8557

受付時間 (平日) 8:30~11:00

支援時間 午前8:00~午後5:00 (年末年始のみお休み)

利用料金 30分300円、以降15分を超える毎に150円加算

地区老連トピックス

「目を凝らし、ちぎり絵画づくり」

私たち長寿会(会員96人)は、毎月2回、元気な顔を見せ合う親睦会の折、会員の特技を披露する。先日は指先を使うちぎり絵画作りを実施。指導したのは***さん。辰年にちなんで「竜の落とし子」オスメス二匹の絵を、あらかじめ家族に手伝ってもらってちぎって持参。これを台紙に形よく貼りつけた。

単純な指先動作とはいえ、1ミリ足らずの小さな目を入れ、背びれをつけ、二匹を形よく貼りつけるのは、年寄りには大変な様子。特に男性は小さな目を頭の上に、二匹を背中合わせに並べるなどおかしく、「年寄りの目はこんな調子」と冗談で笑いを誘う。約20分の苦労の結果を見せ合い、完成したちぎり絵画は各自持ち帰った。(***)

